

### 3 - 3 関東・東海地域における歪観測結果

#### Observations of Crustal Strains by Borehole Strainmeters in the Kanto and Tokai District

気象庁地震課 地震予知情報室  
OIEP, Seismological Division, Japan Meteorological Agency

第1図(A)及び(B)は、前回<sup>1)</sup>以後1980年4月までの埋込式体積歪計の観測結果で、毎時の値をプロットしたものである。第2図及び第3図は、観測開始以来1980年5月上旬までの変化図である。

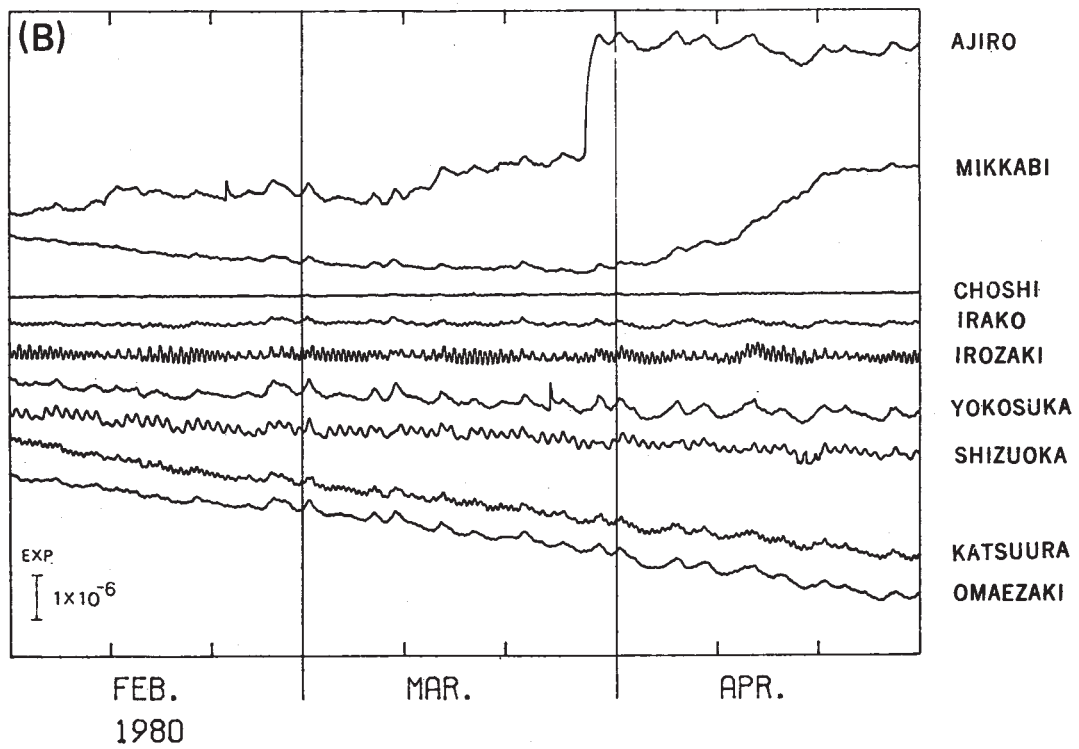
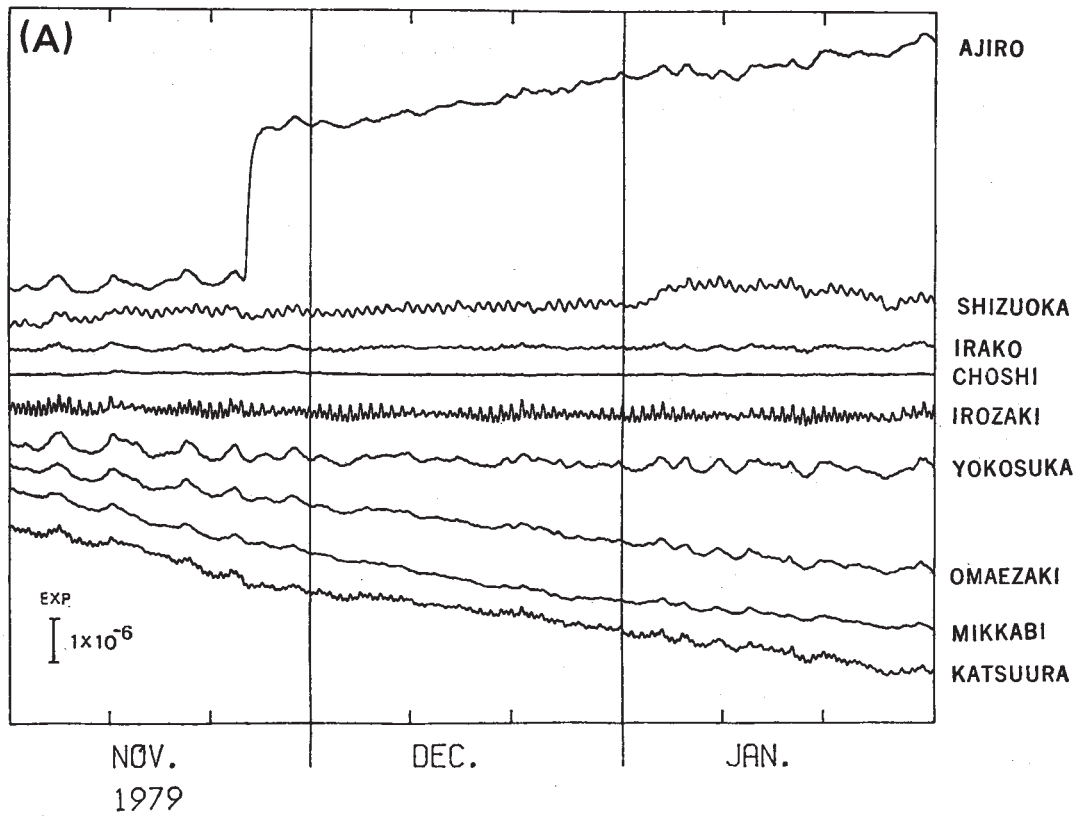
第1図によると、網代では1979年11月下旬と1980年3月下旬に、やや大きな、急激な変化があったように見えるが、今まで網代では大きな変化が続いていた(第2図)ので、以前からの経過を考慮すれば特に異常な変化とは言えない。

第1(B)図で三ケ日の記録は1980年4月おおよそ $2 \times 10^{-6}$ 程度の伸びになっているが、この場合も第3図からわかるように、毎年春～夏季には伸びになる傾向があり、年周変化の一部である。恐らく雨量に関係した変化と思われる。

その他は特に注目すべき変化はない。

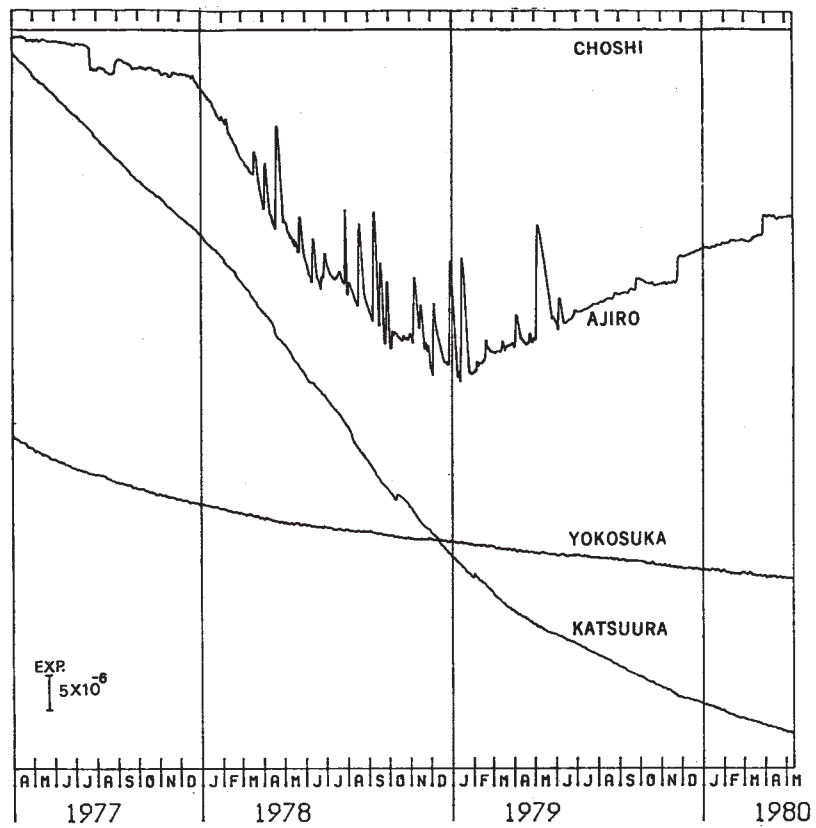
#### 参 考 文 献

- 1) 気象庁地震予知情報室：東海地域の歪計連続観測結果について、連絡会報，23(1980)，85 - 87.



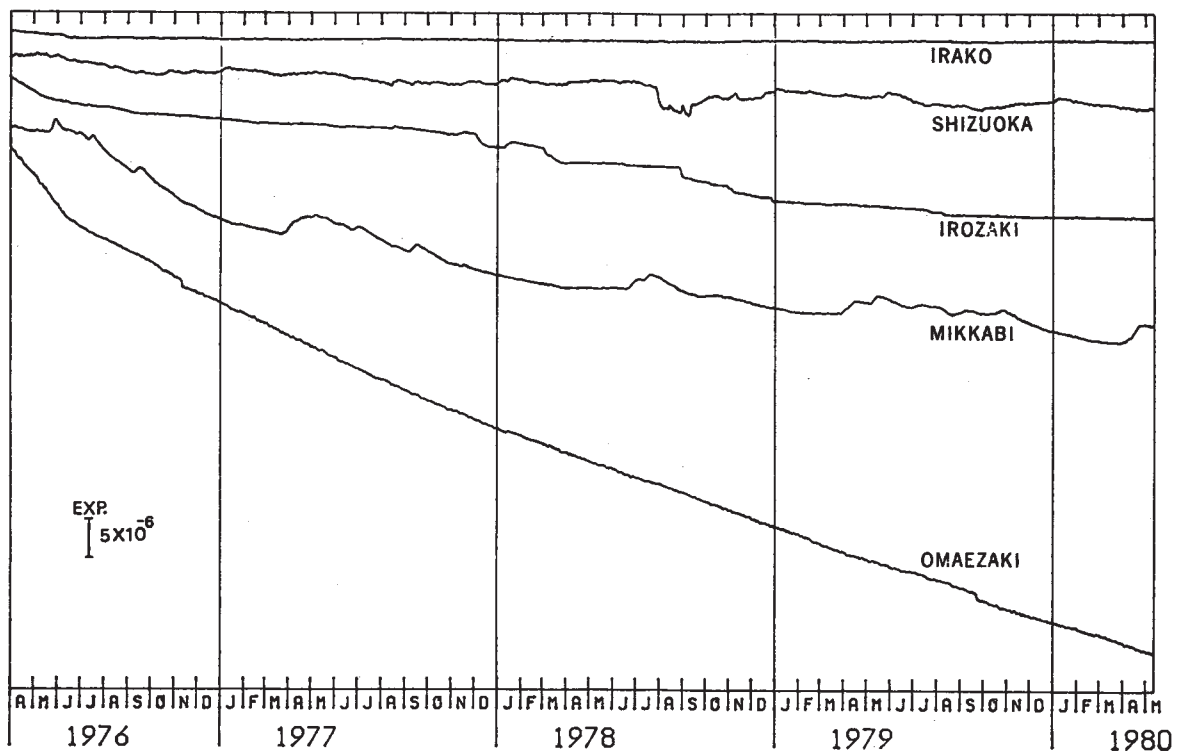
第1図 埋込式歪計による歪変化（毎時の値）

Fig.1 (A) and (B). Variations of ground-strains by borehole strainmeters (hourly values).



第 2 図 関東地方における埋込式歪計による歪変化（毎日の平均値）

Fig. 2 Secular variations of ground-strains by borehole strainmeters in the Kanto District (daily mean values).



第 3 図 東海地方における埋込式歪計による歪変化（毎日の平均値）

Fig. 3 Secular variations of ground-strains by borehole strainmeters in the Tokai District (daily mean values).